
君との最後

桜もち

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君との最後

【Nコード】

N1060R

【作者名】

桜もち

【あらすじ】

機械と人間の恋。最後はきっと二人の気持ちは繋がったはず。

きれいな夕焼けの中、私の意識が遠のいていくのが分かった
ねえ いつかまた会えるかな？

ねえ 次目を開けたときは あなたは目の前にいてくれるかな？
ただ最後に見た真っ赤な夕焼けだけが
今も心に残ってる

本当に大事なものはあなただけだった
はつきり覚えてるよ
街中の散歩

ロマンチックな映画
一緒に歌ったあの歌
あなたに似たあの暖かな風が吹いていたあの日
その日が増えるたび
大切なものが増えていったよ

私にはない暖かさ
感じられないはずの肌が
感じられるようになったのは
なぜだろう？

いつか私がダメになったときは
きれいな夕焼けが見える場所で眠らせてね
きつとそこなら良い夢が見れると思うの
きつとそこならあなたのことだけを想っていられると思うの

きれいな夕焼けの中、私の意識が遠のいていくのが分かった

ねえ いつかまた会えるかな？

ねえ 次目を開けたときは あなたは目の前にいてくれるかな？

ただ最後に見た真っ赤な夕焼けだけが

今も心に残ってる

涙が一粒落ちて

私の頬に当たった

私の気持ちと重なり

同時に意識は途切れた

ありがとう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1060r/>

君との最後

2011年10月8日11時44分発行